

8

高等学校 工業科 (建築) 実技 (問題)

(1枚のうち1)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

あとの図1・図2は建築物に関わる平面図を、図3・図4は建築物に関わる部分詳細図を示しています。次に示す〈作図条件〉を踏まえ、図1・図3の参考図を基に、図2・図4の完成図を作図することとします。準備されたCADソフトを使用して、指定されたレイヤグループの図面枠内にそれぞれ作図しなさい。

ただし、レイヤグループ0に図2の完成図を作図し、レイヤグループ1に図4の完成図を作図することとします。

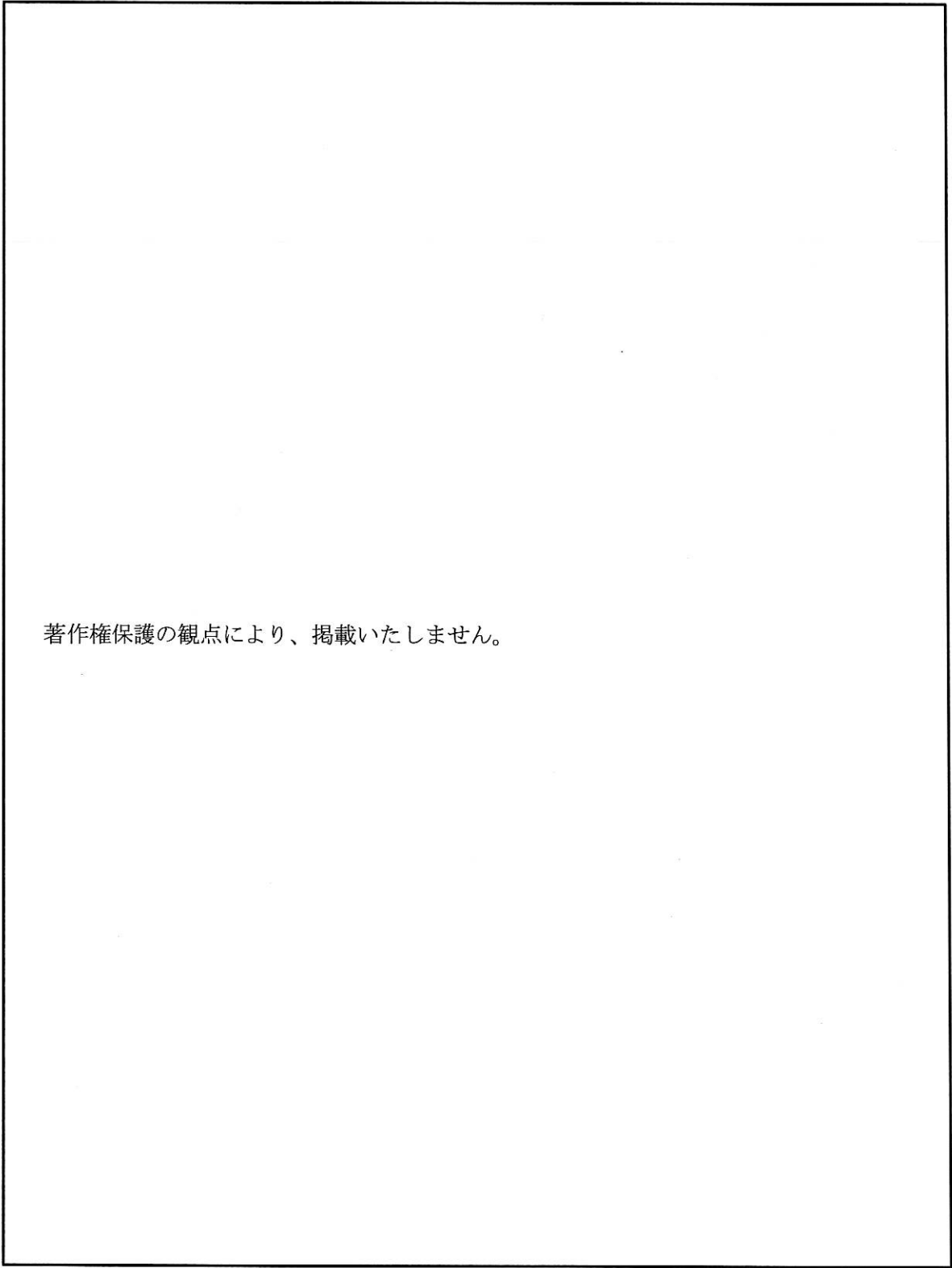
〈作図条件〉

- (1) レイヤは、適宜使い分けすることとする。
- (2) 柱の寸法は、すべて 600 mm × 600 mm とする。
- (3) 柱の中心は、通り芯の交点と一致していることとする。
- (4) 間仕切り壁は、150 mm の厚さとし、その他の壁は、250 mm の厚さとする。
- (5) 部材の寸法については、参考図に示した数値どおりとする。
- (6) 尺度は、平面図が 1 : 100 、部分詳細図が 1 : 30 とする。

8 高等学校 工業科（建築）実技（資料）

（4枚のうち1）

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

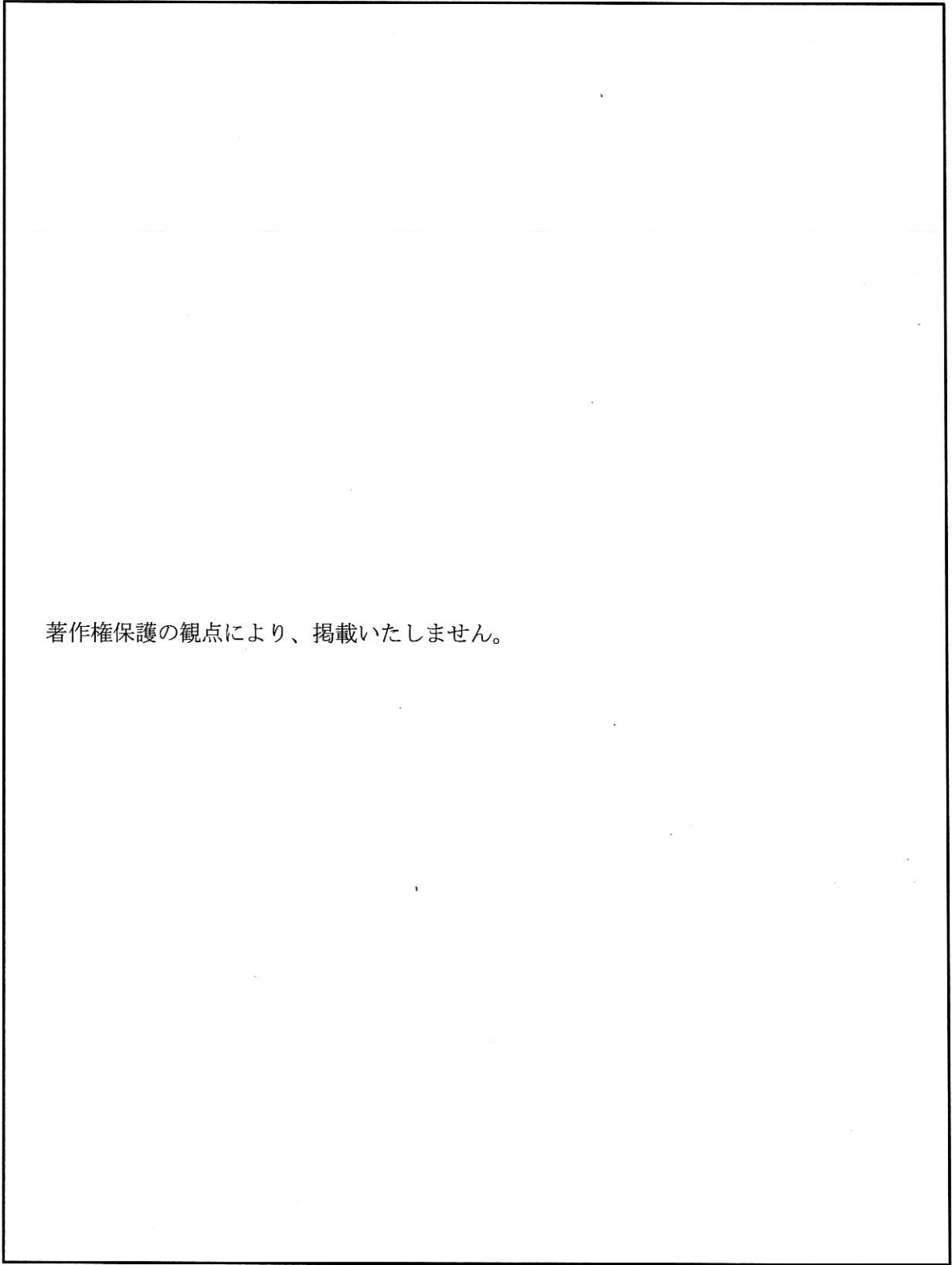


著作権保護の観点により、掲載いたしません。

8 高等学校 工業科（建築）実技（資料）

（4枚のうち2）

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--



著作権保護の観点により、掲載いたしません。

図 2

8 高等学校 工業科（建築）実技（資料）

（4枚のうち3）

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

8 高等学校 工業科（建築）実技（資料）

（4枚のうち4）

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

著作権保護の観点により、掲載いたしません。